

radio Camnetに続くマガジン版

雲心月性

大槻ワールドへようこそ



Camnet マガジンをお楽しみの方。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は2021年度から、岡山県真庭郡新庄村の内科診療所で一人医師として勤めています。ワーク・ライフ・バランスも一層整う感じになって、自然と仲良くしています。

このコラムについては、二か月分なのでリアルタイムでは、様子をお伝え出来ません。昨年1～2月の様子をお伝えします。

1月の朝は、アートな霜の朝。



2023年1月は大雪・・・一夜明ければ90cmほど。雪掻き大変でした。



青空の雪の白さのコントラストの中で新庄神社です。

樹氷というのか・・・白い縁取りの木々



たまに2月中旬に県南に降りると梅を楽しめます。



村の春・・・辛夷の冬芽から。



*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_**

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「冬の日・・・ひとり」は、大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが……。なんと50年以上まえ。高1の作品です。
.....

窓の外は 白く染まり
枯木さえ美しく 花が咲き
空を見れば 雪の粒が
灰色の 彼方から 降りてくる
雪に 連れられた 小さな天使と
そっと 窓越しに 話したい
誰かを 誰かを 愛したい
部屋の中は 暖かくて
擦り切れた ビートルズ 歌うけど
思い出さえ 遠すぎる
誰かを 誰かを 愛したい

コート羽織り 街に出れば
俯いて 雪の道 歩くぼく
誰と出逢う わけでもなく
人ごみの ざわめきも 淋しくて
恋の つぶやきも 心のすきまを
そっと くすぐって 抜けて行く
誰かを 誰かを 愛したい
雪の街を 歩く人は
粉雪と楽しんで 歌うけど
思い出さえ 遠すぎる
誰かを 誰かを 愛したい

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

雪の 冷たさに 心を閉ざさず
愛の 暖かさ 求めよう
誰かを 誰かを 愛したい
誰かを 誰かを 愛したい

.....

二か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまいますが、疫病収束さらに国際平和を祈念しています。

プロフィール 大槻 剛巳（おおつき たけみ）

新庄村国保診療所で内科医師として勤務
0歳:京都府福知山市にて生誕
14歳:京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳:KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳:倉敷市に転居
15&18歳:NHKあなたのメロディー出演
18歳:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場
20歳:YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳:川崎医科大学卒業
以降:川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年:米国留学(医学研究)
1996年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年:Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当
2021年3月、川崎医科大学衛生学教授を退官。現在に至る

